

17. 激動する東アジアと日清・日露戦争(1) HW 764(A/B)

① **帝国主義** …欧米列強は資源や市場を求めてアジア・アフリカへ進出し、武力で植民地を拡大

条約改正 …明治政府は幕末以来の不平等条約の改正を目指した

② **欧化** 政策…条約改正に有利なように、欧米の習慣や風俗を取り入れた

・1894年、外相③ **陸奥宗光** が日英通商航海条約を結ぶ

→④ **領事裁判** 権の撤廃と⑤ **関税自主** 権の一部が認められた

・1911年、外相小村寿太郎のときに⑤権が認められ、対等な条約が実現

⑥ **甲午農民** 戦争…1894年、朝鮮で東学を信仰する農民たちが蜂起

↓ 清と日本がともに朝鮮に出兵

⑦ **日清** 戦争…1894年、開戦。日本が勝利→⑧ **下関** 条約が結ばれた

清は⑨ **朝鮮** の独立を認め、⑩ **賠償金** 2億両の支払い、

⑪ **遼東** 半島・⑫ **台湾** ・澎湖諸島を日本にゆずる

⑬ **三国干渉** …⑭ **ロシア** がドイツ・フランスとともに⑪半島の返還を日本に要求

政党内閣…1900年、伊藤博文が⑮ **立憲政友会** を結成→日本の政党内閣の基礎となった

欧米列強の中国分割 …清が日本に敗れたことから、欧米列強の清への進出が始まった

⑯ **義和団** 事件…山東省で⑯を中心とする民衆が外国人を追い出そうとして蜂起

→1900年、各国の公使館を包囲→日本やロシアなど8か国が鎮圧(80回共同出兵)

→ロシアは⑯事件のあとひきつづき満州を占領し、遼東半島の軍事施設を強化

→こうした動きを警戒した日本とイギリスは協力してロシアをおさえるため⑰ **日英同盟** を結ぶ

⑱ **日露** 戦争…開戦の世論が強まり、1904年開戦(露が朝鮮半島に出ることに決めたから)

(→社会主義者の⑲ **幸徳秋水** やキリスト教徒の⑳ **内村鑑三** などが非戦論を唱える)

戦いは日本に有利に進んだが、日本・ロシアともに戦いの継続が困難となる

→1905年、アメリカの仲介で㉑ **ポーツマス** 条約が結ばれた

・ロシアは㉒ **朝鮮半島** における日本の優越権を認める

・ロシアは㉓ **半島の租借権** を日本にゆずる

・ロシアは㉔ **南満州** 鉄道の権益を日本にゆずる

・㉕ **樺太(サハリン)** の南半分を日本の領土とする

あぐをとうとよ 君を泣く

君死にたまふことなかれ

未に生れし君なれば 親のなさはまさりしも

親は刃をにぎらせて 人を殺せとをしへしや

(略)

▲⑱戦争に対する与謝野晶子の詩

→賠償金を得られなかったことに対して、国民に大きな不満が残る

→各地で民衆の騒動…東京日比谷公園で講和反対・戦争継続をかける暴動がおこる

7月6日焼身自殺事件